

## ■制約事項

下記の制約事項に従いシステム設計を行なってください。

| 項 目                |    | 条 件                        |
|--------------------|----|----------------------------|
| 接続可能室内ユニット台数       |    | 2～4<2～7 分岐ユニット接続時>         |
| 接続可能容量範囲           |    | J44～J196(室外ユニット容量の55～245%) |
| 同時運転最大容量/台数        | 冷房 | J120(室外ユニット容量の150%以下)/4台   |
|                    | 暖房 | J140(室外ユニット容量の175%以下)/5台   |
| 室外ユニット接続可能分岐ユニット台数 |    | 0～2                        |
| 分岐ユニット接続可能室内ユニット台数 |    | 1～2                        |

1. 接続可能容量の範囲外で室内ユニットを接続した場合、システムエラーにより運転ができませんので組み合わせには十分ご注意ください。  
※システム組合せの際、床暖ユニットはJ28形室内ユニットに相当します。
2. 同時運転最大容量を超えて運転しようとした室内ユニットは運転容量オーバー待機となり運転しません。  
(運転容量オーバー待機は壁ビルトイン形・天井ビルトイン形・天井埋込形の場合、室内ユニットの運転ランプ4回、タイマーランプ1回点滅し、壁掛形・天井カセット形の場合、デジタルで4-1と表示され送風状態となります。)  
待機中の室内ユニットを運転する場合は運転している室内ユニットを停止させ同時運転最大容量内に入るようにすると待機した順番に自動的に運転を開始します。  
※同時運転が必須の部屋(室内ユニット)は同時運転最大容量を超えないように組み合わせてください。
3. 室内ユニットの運転は先押し優先となります。
4. 分岐ユニットは必ずD系統(室外ユニット冷媒配管系統)に接続してください。
5. 分岐ユニットを使用しない場合、室内ユニットはA～D系統の任意に接続可能です。
6. 室外ユニットに接続できる床暖ユニットは1台のみです。
7. 床暖ユニットは必ずA系統(室外ユニット冷媒配管系統)に接続してください。